



館長だより

山形県産業科学館

令和6年8月17日(土)

発行 館長 加藤 智一

困った来館者

先日、ネットニュースを閲覧していたら、某県某市の図書館や800名規模のホール、カフェなども備えた複合施設からの「お知らせ」が取り上げられていたのでご紹介します。以下原文そのまま。

迷惑行為への対応について

館内での迷惑行為について、注意しても改善の様子が見られない場合は強制的に退館していただく措置を取らせていただきます。

現在の状況について

夏休みに入り、宿題に取り組む生徒や、友達と涼みに来てくれる生徒が多く来館し、学生の憩いの場になっていることを喜ばしく思っています。ただ残念ながら、一部の生徒の迷惑行為により、他の利用者様からご意見が多く届いています。スタッフが注意をしても無視する、暴言を吐く、反抗的な態度をとるなど、改善する様子がないため、現在学校や警察、その他関係団体と対応について相談を進めております。

確認できた迷惑行為

- ・ トイレでピアスの穴を開け、血で汚したまま放置する
- ・ 職員をスマートフォンで撮影し SNS に投稿する
- ・ 給湯室の電子レンジを通常とは異なる操作によって発火させる
- ・ 2階からゴミや荷物、紙飛行機を落とす
- ・ ボールやスケートボードで遊ぶ
- ・ ゴミを散乱させたまま退館する
- ・ 通路をふさぐように荷物を置く
- ・ 財布やスマートフォンを置きっぱなしでしばらく席を空ける
- ・ 大声で騒ぐ
- ・ 走り回る
- ・ 大音量で音楽や動画を再生する・・・・・・・・

さぞかし職員の皆様は大変な思いをされたのでしょね。中には、お客様との対応に困って、眠れない夜を過ごした方もいるのかもしれませんが。私は、このような話を聞く度に思い出すことがあります。それは、養老孟司先生（東京大学名誉教授）の著書、「バカの壁」。2003年（平成15年）新潮新書から出版され、450万部を超える大ベストセラーです。皆さんの中にも衝撃的なタイトルにひかれて読んだ方もいるのではないのでしょうか。でも決して「こんな奴

はバカだ、どうしようもない。」と人格を否定し、共感してスッキリするというような内容ではありません。本当は何もわかっていないのに「わかっている」と思い込んでしまうときに存在するのが「バカの壁」。誰にでもあることなのです。自分が知りたくないことについては自主的に情報を遮断してしまっていることに気が付きません。だから「話せば分かる」が通用しない。こんな時はいくら話しても付き合うだけ無駄。どんどん感情的になっていくのがおちです。年齢を問わず、「言っても分からない」「頑固なものもほどがある。」といった感情があなたに芽生えたら、それは「バカの壁」が出現したサインかもしれません。エ!そんな時はどう対処したら良いのか?あくまで私のやり方なのでマネしないでね。私は別な私に話を聞いてもらい、本当の私には休憩してもらうことにしています。命に係わる問題でなければマ!いいでしょ!世の中にはびこる「カスハラ」や「クレイマー」の類は、概この対応でOKかと。ただし、悟られないでくださいよ。100倍反撃食らいますよ。「おい、聞いてんのか!!」



日本のスーパーフード

日本スーパーフード協会によると、スーパーフードの定義は、栄養バランスに優れ、一般的な食品より栄養価が高い食品であること。あるいは、ある一部の栄養・健康成分が突出して多く含まれる食品であることだそうです。日本食でお馴染みな食材で言えば、発酵食品では、納豆、味噌、醤油、麴（糀）、甘酒、酒かす等。米類では、玄米、玄米粉、玄米ぬか油、ぬか、ぬか漬け等。茶類では、抹茶、緑茶、番茶、玄米茶、椿茶等。藻類では、昆布、海苔、ひじき、ところてん、寒天等もスーパーフードです。もちろん梅干しも。